

PFI事業の経緯と 問題点を振り返ってみよう！

【PFI事業 これまでの流れ】

- 平成23年4月 西尾市と幡豆郡3町による合併
- 平成24年3月 公共施設再配置基本計画策定
- 平成26年3月 公共施設再配置実施計画策定
- 平成27年3月 PFI事業特定事業選定、募集要項公表
- 平成28年1月 市民向け公開プレゼンテーション(17日)
優先交渉権者の決定(22日)
- 平成29年2月 西尾市のPFI問題を考える会(代表:榎本さん)から
住民訴訟の訴状が提出される
- 平成29年6月 市長選で見直しを公約に掲げた中村健市長が当選
- 平成29年8月 PFI事業検証プロジェクトチーム発足
工事中止の通知書をSPCに送付
- 平成29年8月 見直しスタート
- 平成29年8月 市長選から1年かかっている
- 平成30年3月 検証報告、見直し方針の公表
- 平成30年6月 業務要求水準書変更(案)をSPCに通知
- 平成30年8月 SPCから平成29年度分増加費用請求訴訟の訴状が提出される
- 平成30年9月 吉良支所棟の業務要求水準書変更(案)をSPCに通知
- 平成30年9月 西尾の明るい未来を取り戻す会(代表:増山さん)から
住民監査請求が提出される
- 平成30年12月 吉良アリーナ棟の業務要求水準書変更(案)をSPCに通知
- 平成31年2月 業務要求水準書の変更通知をSPCに送付
- (令和元年)4月 民事調停の申し立て
- 令和2年3月 平成29年度分増加費用訴訟の判決
- 4月 平成29年度分増加費用訴訟の控訴をしない発表
- 平成30年4月〜令和1年9月分の増加費用請求
- 令和1年10月〜令和2年3月分の増加費用請求

訴訟で支払った分
平成29年度に旧一色支所本館
の解体工事を中断しているだけ
でかかった費用
18,278,718円

現在請求分
平成30年度、平成31年度(令和1年度)に旧一色支所本館の
解体工事を中断しているだけで
かかった費用
71,798,501円

令和2年度に旧一色支所本館の
解体工事を中断しているだけで
かかった費用発生
現在進行形で費用発生



工事中断の間も、費用は
どんどん発生している！

理想の姿

(実現できるのか半信半疑)

市民の理解があり、 聞いている限りは良い事業

- 公共施設再配置の理由
 - ◇少子高齢化社会
 - ◇施設の高齢化
 - ◇合併に伴う重複施設
 - ◇市民からの期待
 - ◇厳しい財政状況
- 公共施設再配置の基本方針
 - ◇公共施設の保有総量を段階的に圧縮
 - ◇優先順位の低い施設は原則統廃合を
検討
 - ◇市民と共に公共施設再配置を促進



今までにないもの 質の向上

- 西尾市方式のPFI
 - ◇従来の施設には無い新しい価値観
 - ◇従来のハコモノではなく機能優先
 - ◇公共財産の有償賃貸、譲渡により、
施設更新費用に充当する

どんな事業にするの？

■PFI見直しのため、工事を一時中止

- ※一色健康センター・一色町公民館・一色学びの館工事は続行(吉良支所棟新設工事、旧一色支所本館の解体工事を一時中止)



■増加費用について

【対象工事(一時中断した工事)】
吉良支所棟新設、旧一色支所本館の解体
【平成29年度分判決額】
約3,400万円

【判決の問題点】

- ◇業務内容が不明瞭
- ◇(計画書不提出のため)
- ◇人件費単価の高さ(1日あたり約12万円)

参考:他の中止事業(PFIではない)の1日あたりの人件費は2万6,400円なので4倍超

※問題点が発覚するも、控訴で争うことはしない決定

↓平成30年度以降の増加費用も判決を基準として1日12万円の人件費を支払う意向であると市が答弁。

【平成30年4月〜令和2年3月請求分】
約1億4,200万円



現状から見て、PFI事業の何が問題なのか
有権者のみなさんに理解してもらうために、
経緯や図を用いて解説・分析してみました。

フタを開ければ...

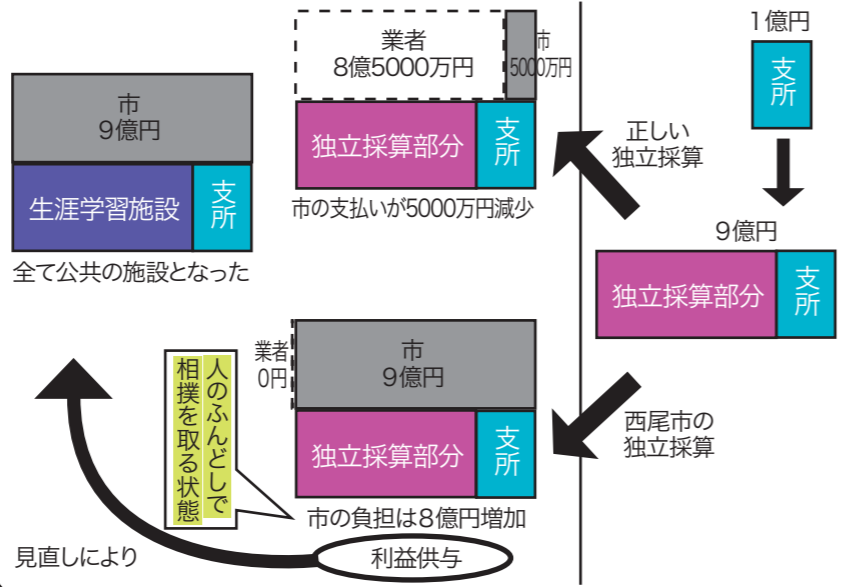
※一部抜粋

- ◇再配置計画すべての事業を1グループに委託する?
- ↓金額も個別明記なし。設計もない。内訳は契約後に決める後だしジャンケン
- ◇性能発注という相対評価が必要なもののなに1グループの応募
- ↓競争、比較無しで、本当に善し悪しを評価できるのか?
- ◇30年契約。変更や解除について契約書にきちんと定めていない
- ↓効果が出なかった事業、途中で不要となった事業はどうなる?
- ◇給食センターはどこへ?
- ↓応募内容と契約内容が違ったら、問題ではないか?
- ◇独立採算事業の設備資金を税金で払うのか?
- ↓利益供与じゃないのか?



●独立採算事業と利益供与の解説

例:(吉良支所棟の場合)
工事費1億円の支所に独立採算のための施設を追加し、工事費が9億円。



■PFI事業の見直しの意見

PFI事業の見直しをこのまま変更契約ありきで進めても、平行線を辿りさらに長引くリスクが高いと感じる。そして一つひとつの事業内容金額を適正なものになるよう精査すべきだ。まずは契約を白紙に戻し包括契約を無くすことが早期決着への第一歩ではないだろうか。



全力問